

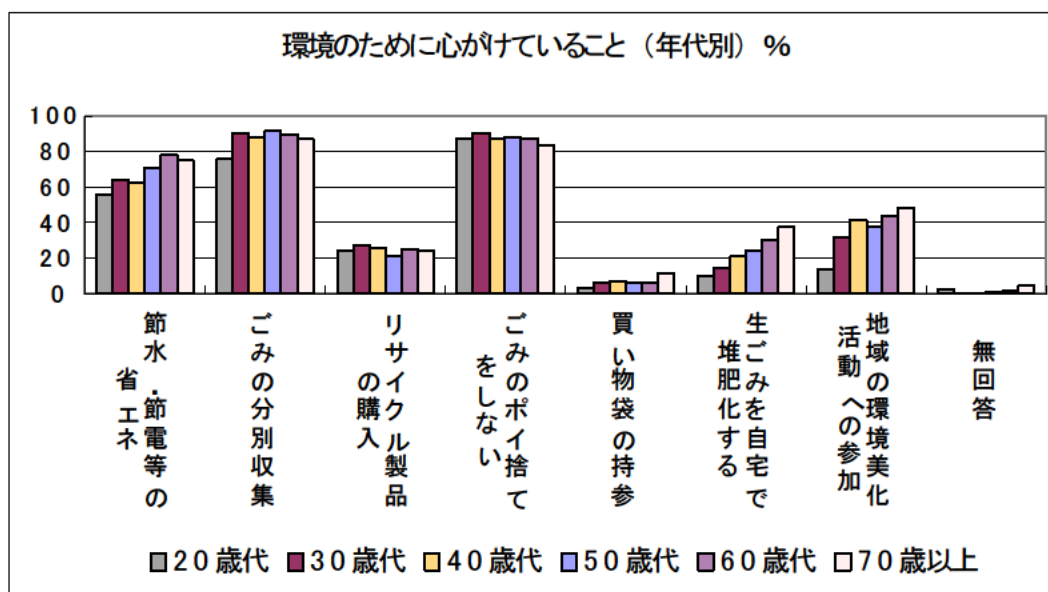
3. 環境のために日常の生活や行動で心がけていること

問3 最近の環境問題は、例えばごみの問題などのように、事業活動や住民一人ひとりの日常生活のあり方にかかるものが多くなっています。そこで、県では「環境先進県づくり」を推進するため、住民、団体、企業、市町村、県が連携、協力して取り組むこととしています。

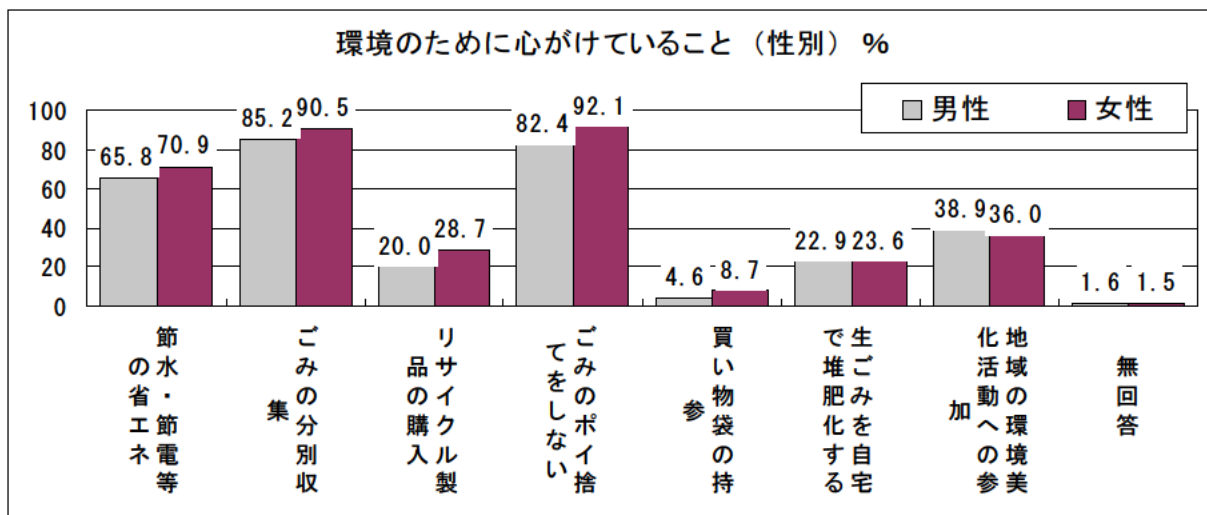
次の事例の中から、日頃のあなたの生活や行動について、あてはまるものがあれば○をつけてください。

(○はいくつでも)

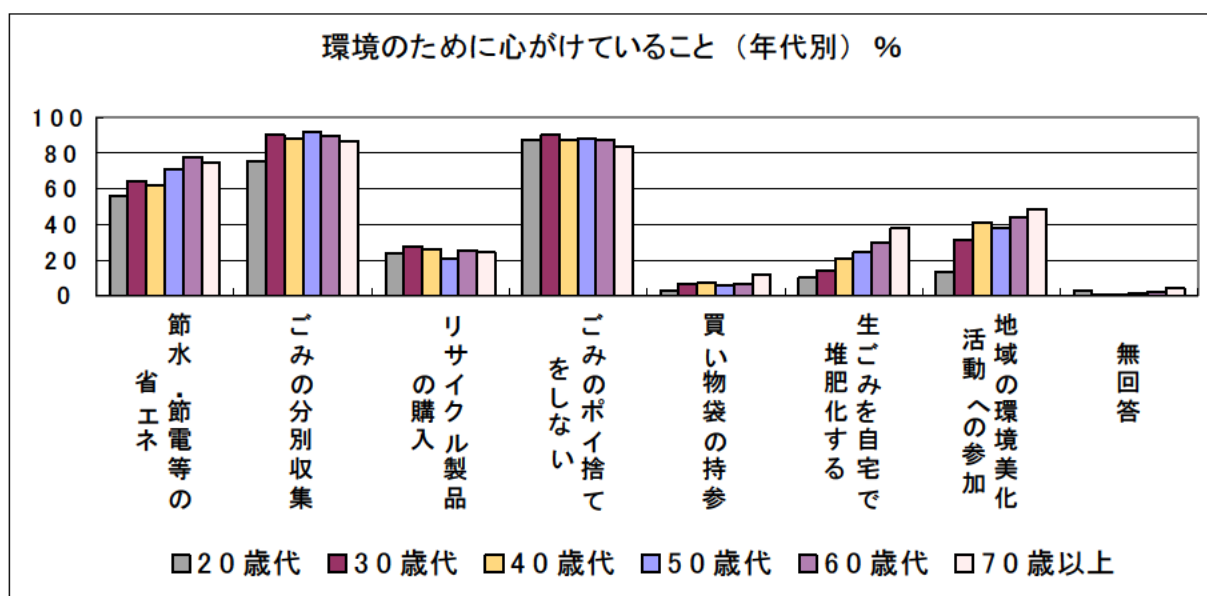
- 1 節水、節電など省エネに心がけている
- 2 ごみの分別収集を理解して協力している
- 3 同じ製品でもリサイクル製品があればそちらを買うように心がけている
- 4 ごみのポイ捨てはしない
- 5 買い物に行くときはマイバッグを持って出かけ、店の袋は断るようになっている
- 6 生ごみは自宅で堆肥（コンポスト）化している
- 7 地域での環境美化活動には参加するようにしている



- ◇ 「ごみの分別収集」と「ごみのポイ捨てをしない」の割合が高くなっており、次いで「節水・節電等の省エネ」となっている。
- ◇ 「地域の環境美化活動への参加」は37.4%が心がけているものの、「リサイクル製品の購入」等はまだ低い。



◇男女別の傾向としては、「地域の環境美化活動への参加」を除く6項目で、女性の方が男性より環境のために心がけている割合がやや高くなっている。



- ◇「ごみの分別収集」、「ごみのポイ捨てをしない」は各年代とも意識が高い。
- ◇「節水・節電等の省エネ」、「生ごみを自宅で堆肥化する」、「地域の環境美化活動への参加」などでは年代が高くなるほど取組む人の割合が高くなる傾向が表われている。
- ◇20歳代の「地域の環境美化活動への参加」は13.6%と平均の37.4%の約3分の1であり、70歳代の48.5%と比較し極端に低くなっている。